

## 湖国精工株式会社 環境方針

企業の社会的責任を認識し、自社から環境汚染を出さないよう「安全・防災・環境保全」の改善活動に積極的に取り組む。

- ① 廃棄物の減量化と、分別処理を推進し、環境汚染の防止に努める。
- ② 省資源・省エネルギーに努め、環境負荷の低減をはかる。
- ③ 環境・地域社会への貢献  
企業市民として[ふるさと盛越川を愛する会]の地域の環境活動に参加し、地域社会と調和をはかる。
- ④ 環境啓発活動の推進  
環境教育を通じ、環境方針を徹底させるとともに大切さを認識し、意識の向上をはかる。

## 環境保全のあゆみと取組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

(目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負の少ない持続可能なまちづくりに自主的、主体的に行動するとともに協働して取り組むことが求められている。

(活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて、環境への負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施するものとする。

(環境管理体制の整備・充実)

環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

また、環境管理体制はISO14001に沿ったマネジメントシステムの構築また、市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

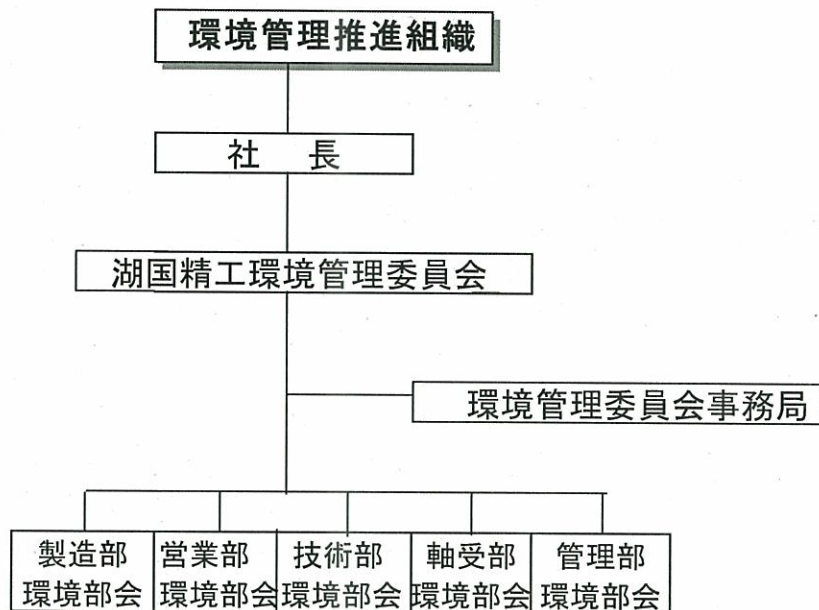
(報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回市に報告する。

昨年に続き、平成14年度の取組み結果を報告します。

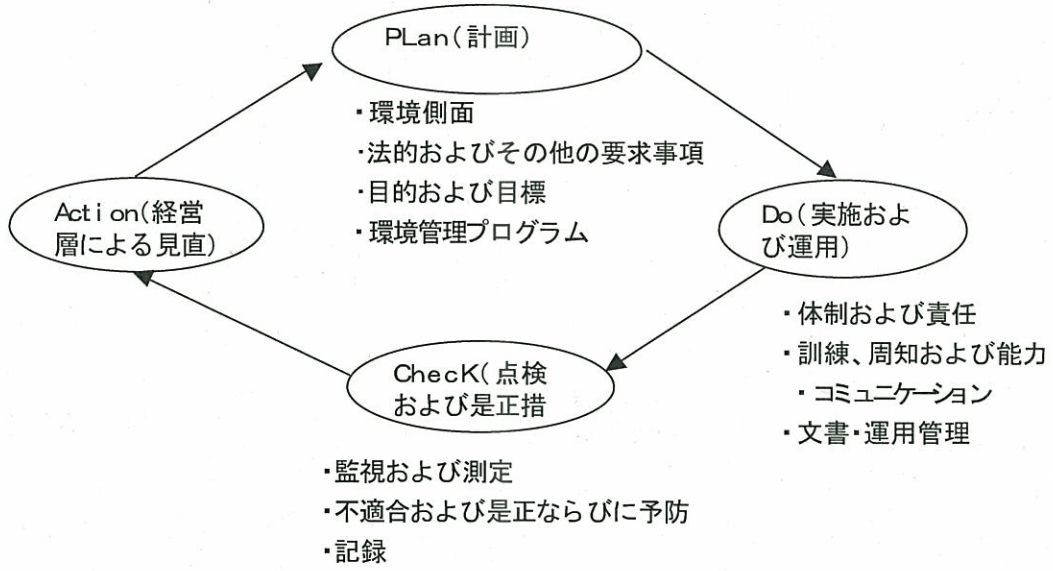
### 主な環境管理活動

- ① 廃棄物対策: 廃棄物の発生量の削減、分別処理と再資源化の推進
- ② 省資源・省エネルギー活動: 地球温暖化防止にともなうCO<sub>2</sub>の排出削減、効率的なエネルギーの使用。
- ③ グリーン調達: 環境負荷の小さい製 部品・材料等の購入。
- ④ 工場周辺の清掃・緑化と景観向上: 企業市民として地域の環境活動に参加し、調和をはかる。
- ⑤ 環境啓発活動の推進: 環境教育を通じ、大気・水質騒音・振動・悪臭等の環境汚染防止に努めるとともに、社員ひとり一人に法・条例の遵守を徹底する。



主な環境管理活動

(PDCAサイクルによる、継続的改善の管理システム)



<ul style="list-style-type: none"> <li>・P-D-C-Aのサイクルで構成されているシステムで、このシステムを運用することにより継続的改善を目指す。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚染の予防と環境関連法規制の遵守が要求されており、これに対するシステム構築と運用を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針及び目的・目標を定め、体系的な改善を行う</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境影響の原因である環境側面を取上げ、これの管理・改善を行う。環境影響を出してから対策するのではなく、発生源の管理・改善を目指している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境影響の著しいものを取上げ、重点的に管理・改善を行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップダウンで行う全員参加のシステムである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる組織に適用できるシステムで、システム導入は組織の自主的な活動により行われる。</li> </ul>

## 環境中期計画

	2001年	2002年	2003年	2004年
①廃棄物	減量化 (適量購入)	減量化 (納入包装資材の削減) (適量購入)	減量化 (納入包装資材の削減)	リサイクル化 (紙類・廃プラ・廃油)
②省資源	電力使用量の低減 (デマンドメータによる 管理)	包装用緩衝材の変更 (ダンボールからエアーク パックへ)	電力原単位 2002年度に対して 2%削減	用水使用量の削減 (前年使用量の1% 削減)
③地球 温暖化 (省エネ活動)	CO2排出削減 (ガス空調への切替) (アイドリングストップ)	CO2排出削減 (ガス空調への切替) (アイドリングストップ)	CO2排出削減 (ガス空調への切替) (アイドリングストップ)	CO2排出削減 (省エネ車・エコカー の購入)
④グリーン 調達	調達品のグリーン購入 (環境配慮型製品の 購入)	調達品のグリーン購入 (環境配慮型製品の 購入)	調達品のグリーン購入 (環境配慮型製品の 購入)	調達品のグリーン購入 (環境配慮型製品の 購入)
⑤景観向上 と予防	工場周辺の清掃 (盛越川の清掃作業)	廃棄物からの油脂類の 流出防止 (流出防止の溜樹設置)	工場周辺の緑化 (CO2吸収効果の向上)	騒音発生防止 (プレスハンマー音の 騒音防止)
⑥環境教育	環境セミナーへの参加 (滋賀工業会)	環境セミナーへの参加 (滋賀工業会)	環境マネジメントシステム の取組	.....

環境管理活動実績報告書

①廃棄物	減量化  適量購入	材料・部品・小物の製品等の購入時は出来るだけ、通い箱に入れさせ、搬入することにより包装材を減らすとともに、梱包によるものは、特に木材、ダンボール、ビニール、発泡スチロール等は納入業者に持ち返らせている。 機械油、塗料、シンナーなどは常に在庫量をチェックし、購入量を抑えている。 製品材料の鉄鋼材や線材は、端切れが出ないように細心の計量を行い購入している。									
②省資源	緩衝材の変更	商品包装用緩衝材をダンボールからエアークッションに替える。他の緩衝材に比較して材料も少なく、コストも安い。また使用後は、穴をあけて潰せば容積も極めてコンパクトになりリサイクルも容易である。材料は炭素と水素からできているポリエチレンのため、使用後燃やしてもダイオキシン等の有害物質の発生の心配はない。(写真資料 1・2 参照)									
③地球温暖化防止 (省エネ活動)	CO <sub>2</sub> 排出削減  アイドリングストップ	2001年から実施している、空調機の電気からガスヒートポンプへの切替えは、昨年に続きCO <sub>2</sub> の排出量を大きく削減した。同時にエネルギーコストの改善も見られた。(写真資料 3 参照) 構内への車両乗り入れは、15Km走行を守るとともに停車時は必ずエンジンを切り、また空ふかしやアイドリングをストップするよう、立て看板を建て励行している。(写真資料 4 参照)									
④グリーン調達	エコ商品の購入	環境配慮型事務用品の購入 エコマークのついた商品を優先的に購入する。 事務用品に対するエコ商品購入率 <table border="1" data-bbox="603 1182 1233 1283"> <tr> <td>H15/4月</td> <td>53.8%</td> <td>文具・什器備品・OA機器・印刷</td> </tr> <tr> <td>H15/5月</td> <td>58.3%</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>H15/6月</td> <td>23.9%</td> <td>〃</td> </tr> </table> (資料 5 参照)	H15/4月	53.8%	文具・什器備品・OA機器・印刷	H15/5月	58.3%	〃	H15/6月	23.9%	〃
H15/4月	53.8%	文具・什器備品・OA機器・印刷									
H15/5月	58.3%	〃									
H15/6月	23.9%	〃									
⑤景観向上と予防	油脂類の流出防止	切粉・廃材置場より雨水による油類の流出を防ぐため、防油溝を設置し、ここで受け止めた油水を油分離槽(グリーンストラップ)にて分離し公共下水道に流す。 (写真資料 6 参照)									
⑥環境教育	環境研究会への参加	(社)滋賀工業会 環境ISO研究会 平成13年度・14年度参加。 H13年度テーマ『環境ISOの効率的な取得』 H14年度テーマ『組織を活かす環境ISO』に取組んだ。 他社のISO担当者との情報交換を通じ、「時間」「手間」を最小限することや、効率的なISO取得と儲かるISOを考えるなど、競争力向上とコストダウンなど前向きに経営効果をねらうツールとして、環境ISO認証取得の必要性を学んだ。									



写真資料 1

写真、1  
現行包装仕様



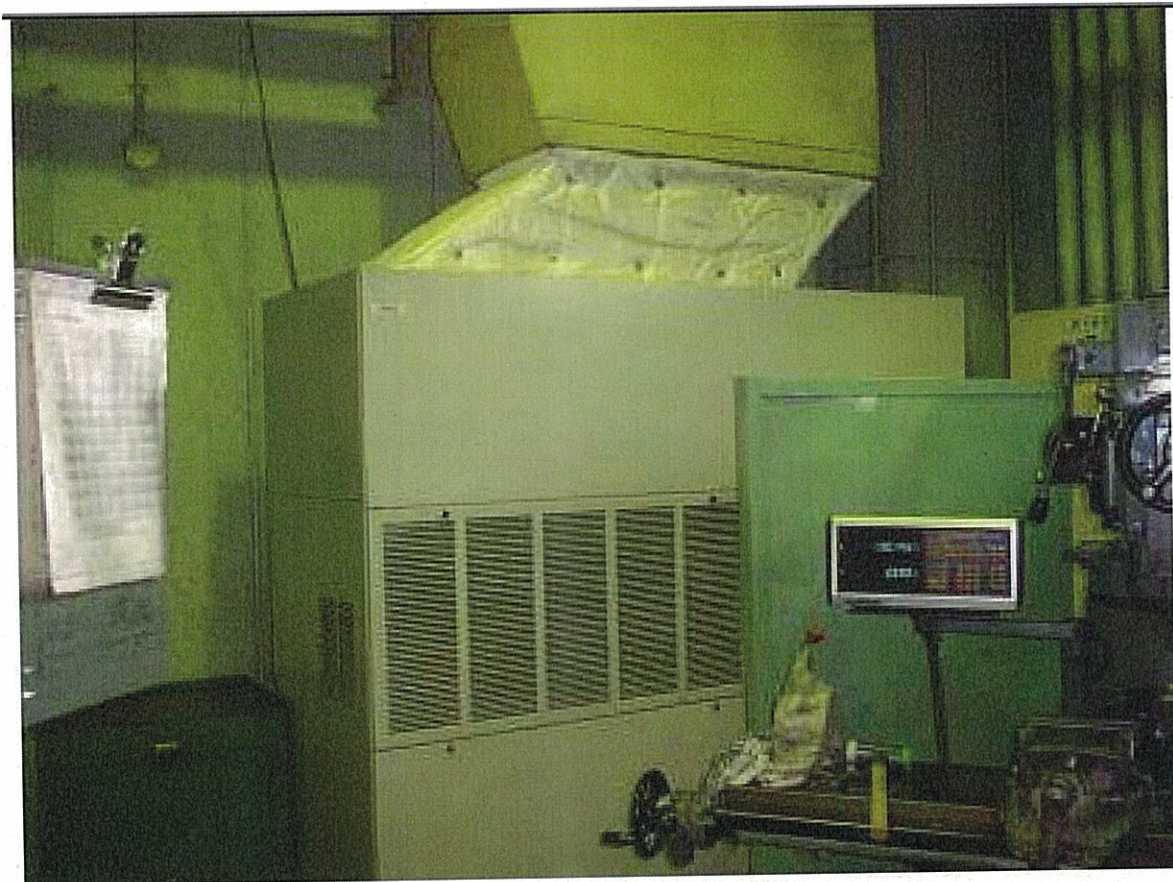
上面にBパット(230  
\*340)3枚

写真、2  
変更後仕様



エアークラフト(中、巾8  
cm)使用

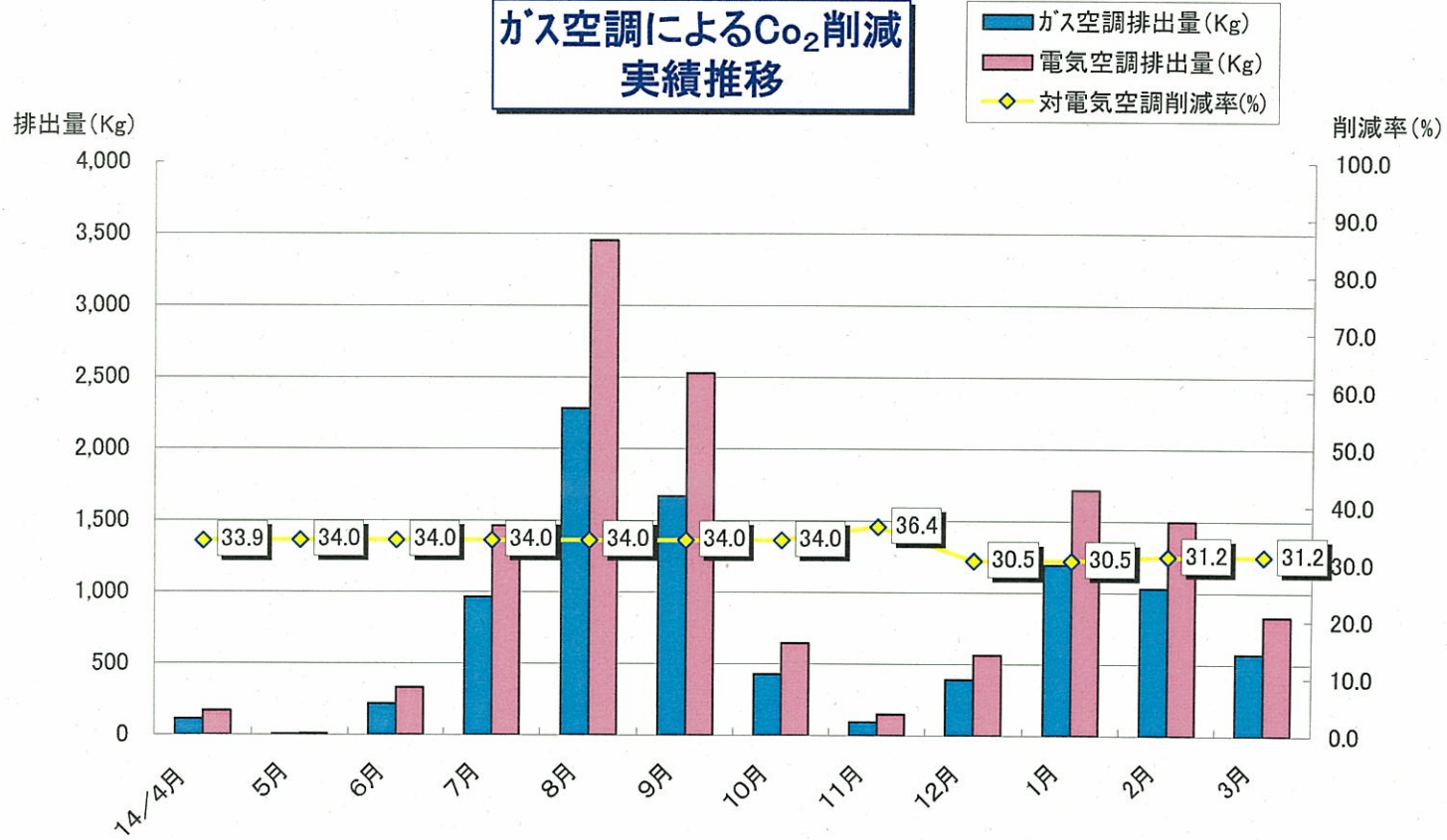
5





# 大切な地球

## ガス空調によるCO<sub>2</sub>削減実績推移

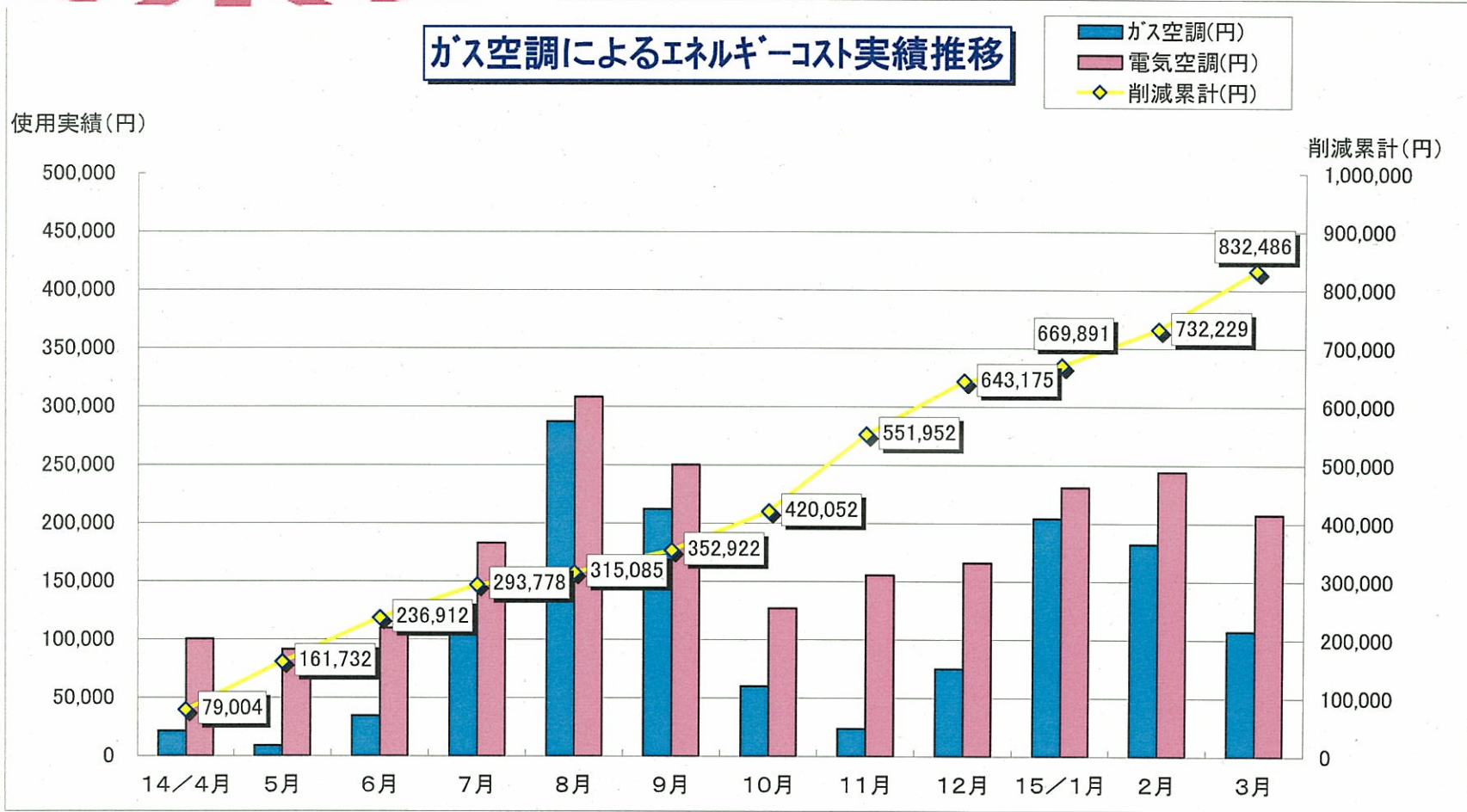


CO <sub>2</sub> 排出量	14/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
ガス空調排出量 (Kg)	110	6	217	964	2,279	1,668	425	94	390	1,192	1,030	571	8,948
電気空調排出量 (Kg)	167	10	330	1,462	3,454	2,528	644	148	562	1,716	1,498	830	13,348
削減量累計 (kg)	57	60	172	669	1,845	2,705	2,924	2,978	3,149	3,673	4,141	4,400	4,400
対電気空調削減率 (%)	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	36.4	30.5	30.5	31.2	31.2	33.0

排出量 = ガス・電気の使用量 × 炭素換算係数 (ガス:0.642、電気:0.174)



### ガス空調によるエネルギーコスト実績推移



使用料金	14/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	15/1月	2月	3月	累計
ガス空調(円)	21,334	8,608	34,469	125,990	287,028	212,163	59,891	23,578	74,782	204,229	181,940	107,226	1,341,237
電気空調(円)	100,337	91,337	109,649	182,855	308,334	250,001	127,021	155,479	166,005	230,944	244,278	207,483	2,173,723
削減累計(円)	79,004	161,732	236,912	293,778	315,085	352,922	420,052	551,952	643,175	669,891	732,229	832,486	-832,486
削減率(%)	78.7	90.6	68.6	31.1	6.9	15.1	52.8	84.8	55.0	11.6	25.5	48.3	38.3





写真資料 6